



平成20年6月13日
内閣府沖縄振興局
独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構

独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構
沖縄科学技術大学院大学に関する国際集中コース開催について

標記について下記のとおり行いますのでお知らせいたします。

記

1. 日 時 平成20年6月16日（月）～7月3日（木）
2. 場 所 OISTシーサイドハウス（沖縄県国頭郡恩納村字恩納7542）
3. タイトル Okinawa Computational Neuroscience Course 2008
（沖縄計算神経科学コース2008）
4. 概 要 沖縄県恩納村にあるOISTシーサイドハウスにて、脳科学と情報科学の融合領域の集中コースを開催します。
計算神経科学とは、脳や神経の働きをコンピューターによるシミュレーションなどによって解析する研究分野です。5回目となる今年は講義を午前中に集中させ、午後の時間すべてを受講生による実習プロジェクトに充てます。また、最初の1週間は解析方法が取り上げられ、午前中は講義、午後はソフトウェアの使い方を紹介します。
今年は海外から12名を含む18名の気鋭の講師陣、および国内外から応募した若手研究者、大学院生が参加する予定です。なお、本コースの企画・運営は沖縄科学技術研究基盤整備機構のエリック・デシュッター博士をはじめとする、代表研究者4名が担当します。
5. 取材方法 別紙の取材要領に従ってください。

【報道機関本件問合せ先】

内閣府沖縄振興局 新大学院大学企画推進室 田中、漢那
電話(代表) 03-5253-2111 FAX 03-3581-0952

沖縄科学技術大学院大学に関連する国際集中コース取材要領

1. 取材が可能なセッション

取材及びカメラ撮りは、以下のセッションにおいて可能です。但し、カメラについては1社1カメとさせていただきます。

6月19日(木) 14:00～17:00 Dr. Marc-Oliver Gewaltig (Honda Research Institute, Europe)による講義

※但し、カメラ撮影は冒頭30分間のみ

(会場：1階セミナールーム)

7月3日(木) 14:00～18:00 受講生によるプレゼンテーション

(会場：1階セミナールーム)

2. 登録

事前連絡は必要ありません。

当日、入場される方は、全員必ず報道機関の腕章を着用し、入り口の受付にて受付を済ませた上で、入場ください。腕章のない方は、会場警備の都合上、入場をお断りする場合があります。

3. 撮影場所の指定

1. のセッションについて、撮影に当たっては、係員の指示に従っていただくようお願いします。

4. 音声の収録

1. のセッションについて、音声ジャックは使用できません。報道各社によるガンマイク等の使用は可能ですが、音声の収録に当たっては、くれぐれもプログラムの進行の妨げにならないよう配慮をお願いします。

5. 参加者への個別インタビュー

講義室内での個別インタビューはご遠慮ください。

参加者への個別インタビューについては、事前に本人の了解を得て行ってください。

6. 留意事項

- ・上記1のいずれのセッションにおいても通訳はありません。
- ・報道関係者控え室はありません。

以上